

やとみ

No.60

2021年
1月26日発行

議会だより



目次

- 12月定例会のあらまし P2
- 委員会レポート P3
- 議案等の賛否状況一覧 P4
- ズバリ聞きます!一般質問 P5~18
- やとさぼ P19
- おしらせ P20

弥富の金魚拡散大作戦!!

弥富金魚、全国の里親たちの元へ

令和2年12月定例会概要

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月24日から12月17日までの24日間の会期で開催されました。

初日には全会一致で人権擁護委員候補者の推薦を適任とし、監査委員の選任を同意しました。また、弥富市議会に「市議会正常化」を求める請願書を全会一致で可決しました。

その他、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第8号）など22議案、JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業に関する請願書が提出されました。中日には弥富市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正についてなど5議案を全会一致で可決、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第9号）など2議案が追加上程されました。所管の委員会に付託、審議し、議案は全て原案どおり可決、請願は不採択となりました。

最終日には、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第10号）が追加上程され、全会一致で可決しました。また、議員発議で意見書1件を全会一致で可決しました。

本会議初日



請願第1号

弥富市議会に
「市議会正常化」
を求める請願書

請願者…名古屋市民オンブズマン代表 新海聡

◆請願の趣旨

弥富市議会において、以下の2点を確認する決議をされるよう、求める。

- (1) 弥富市議会議員および同市議会議員になろうとする者が、地方自治法にもとづいて住民監査請求および住民訴訟を提起することを自由にできること。
- (2) 弥富市議会議員および同市議会議員になろうとする者が、議会以外の場において、適法な手段で行政を監視し、是正をしようとする行為を自由にできること。

問 この請願は可決して終わりではない。中身の議論する場を考えているか。

答 改革協議会等が想定される。

賛成 佐藤仁志議員

議会の調査力、対話力、共生力の正常化が必要。少数意見を排除せず多くの意見を取り入れ市民に問い、修正を繰り返すことが民主主義的な態度であり、現実的な改善の繰り返しが保守的な態度である。請願は議会が生まれ変わる糧になる。

本会議中①



本会議中②



本会議最終日



請願第2号
JR・名鉄弥富駅
自由通路及び
橋上駅舎化事業
に関する請願書

◆請願の趣旨

弥富市の負担が大きい事業計画を見直して、バリアフリー化に絞った計画への見直しを求める。

賛成

那須英二議員
佐藤仁志議員
板倉克典議員

財源は潤沢ではない。市民の交通や災害時の命の安全のために優先的に使うべき。市民はまちづくりや市政に参加を求めている。3月の覚書にこだわり、今あせる必要は無い。市民の声を聞き議論する時間が必要である。

討論

反対 堀岡敏喜議員

請願の提案理由のほとんどには説明が付き、主旨である事業の見直しに関しても紹介議員から明確な回答はなかった。これまでの経緯をしっかりと把握し、市民に説明すべき。

◆請願事項

- (1) 弥富市の負担割合が極端に大きい自由通路方式を見直すこと。
- (2) 駅のバリアフリー化事業を支援すること。
- (3) JR・名鉄弥富駅の北側に改札口を設けること。

意見書の提出

◆防災・減災、国土強靱化の更なる推進の更なる推進についての意見書の提出
提出先【衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、内閣府特命担当大臣（防災）】

行財政委員会

12月定例会の行財政委員会に付託された議案は19件、請願は1件。

12月10日に第1部で総務部・建設部所管分、第2部で市民生活部・健康福祉部・教育部所管分の審査を行いました。

第1部



◆議案第79号「令和2年度弥富市一般会計補正予算（第9号）」
財政調整基金の残高は。

答 9号補正後の残高は約9億円の予定。

◆議案第80号「令和2年度弥富市下水道会計補正予算（第2号）」
公共下水道の接続率と接続数は。

答 令和2年3月末で、接続率45・85%接続世帯数3079世帯。

っている。次年度、特注で製作し、修繕を行う予算化を計画している。

◆請願第2号「JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業に関する請願書」
自治体が主体となる駅整備に関して、事業費負担は決まっているのか。

答 建設部長 国の要綱で事業負担の定めがあり、同一基準で決まっている。

問 自由通路方式の見直しとは、新たに事業設計をやり直すということか。

答 紹介議員「弥富市が事業主体となるのではなく、鉄道事業者が事業主体となり、整備内容を見直してほしい。」という請願趣旨。

◆議案第70号「弥富市十四山総合福祉センター条例の一部改正について」
十四山サービスセ

答 令和3年1月中旬に市民からの意見募集「パブリックコメント」をする予定で、その際に併せて資料として添付する。

第2部



ンターを利用していた方の受け入れ先は確保できているか。

答 利用者の意向を確認し、移行先は確保した。

問 デイサービスを継続でなく廃止とした理由は。

答 民間事業を圧迫する恐れがある。利用者が混在し、転倒事故等の危険が考えられる。要介護認定率を下げることを目標とする必要性があると考えたため。

答 仮想により、地平部に駅舎等を再整備する場合に要する費用から、残存価値を差し引いた駅舎の建て替え相当額が負担額となる。

問 下水道財政計画の進捗状況は。

答 令和3年1月中旬に市民からの意見募集「パブリックコメント」をする予定で、その際に併せて資料として添付する。

所管質問



▲十四山デイサービスセンターが入っていた施設

問 ごみ分別アプリの導入について進捗状況は。

答 11月から運用が始まった、A-（人工知能）を活用した総合案内サービス「A-チャットボット」に

ある「ごみ分別ガイド」を活用していきたい。



▲AIチャットボット（市HPから）

問 プレミアム付商品券の引換状況は。

答 10月7日に3万セットの販売予定数に達した。引換数は2万4957セット、約83%。

問 今回の問題点は。

答 セルフレジ等を導入したことで、商品券を取り扱うために要する人員配置が難しく、参加を見合わせた店舗があった。



▲プレミアム付商品券

で498セット、愛・地球博記念公園2日間で591セットを配布。

SNS等投稿数の累計は377件で34・6%。



▲「弥富の金魚拡散大作戦」

問 保護者が学校生活を見守る機会はどのように確保されているのか。

答 zoomを用いて「オンライン朝の会」と称し、保護者に見てもらおう試みをした学校もあった。

問 成人式を分散して開催できないか。

答 成人式実行委員会で感染症対策を講じている。既に案内ハガキを発送している状況で、変更は現在のところ考えていない。

第3部 討論・採決



付託された議案は全て原案を了承しました。請願は不採択としました。

12月定例会 議案等の賛否状況一覧（11月24日議決）

会 派 名			政 新 会								公明党		日本共産党		無会派	無会派	無会派	無会派
議案番号	件 名	議決結果	高橋八重典	大原功	佐藤高清	三浦義光	平野広行	早川公二	鈴木みどり	加藤克之	堀岡敏喜	小久保照枝	那須英二	板倉克典	江崎貴大	横井克典	佐藤仁志	加藤明由
市長提出議案																		
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第18号	監査委員の選任について	同意	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願																		
請願第1号	弥富市議会に「市議会正常化」を求める請願書	採択	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会 議案等の賛否状況一覧（11月30日議決）

市長提出議案																		
議案第57号	弥富市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	弥富市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	弥富市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	弥富市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第61号	弥富市短時間勤務会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

12月定例会 議案等の賛否状況一覧（12月17日議決）

議案第62号	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	弥富市税外収入に係る延滞金に関する条例等の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	弥富市障害者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	弥富市十四山障害者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	弥富市高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	弥富市十四山高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	弥富市デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	弥富市南デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	弥富市十四山総合福祉センター条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	弥富市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	弥富市遺児手当支給条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和2年度弥富市一般会計補正予算（第8号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和2年度弥富市土地取得特別会計補正予算（第2号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	令和2年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	令和2年度弥富市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	令和2年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	令和2年度弥富市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	令和2年度弥富市一般会計補正予算（第9号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	令和2年度弥富市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	令和2年度弥富市一般会計補正予算（第10号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願																		
請願第2号	JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業に関する請願書	不採択	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○
議員提出議案																		
発議第8号	防災・減災、国土強靱化の更なる推進についての意見書の提出について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否状況 ○：賛成 ×：反対 △：採決時退席 —：議長は採決に加わらない。



ズバリ聞きます!

一般質問

市政を問う 13 議員が登壇

各議員のページの顔写真横の二次元バーコードを読み取っていただくと、市議会映像配信ページをご覧ください。ぜひご覧ください。

一般質問は、議員が市政全般に関して、執行機関にその執行状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項などについて質問をすることをいいます。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

議員名	件名	頁	議員名	件名	頁
三浦 義光	①気象変動による災害対策は ②新規広域農道の今後は	6	板倉 克典	①コロナ禍の災害避難は ②市内道路の安全対策は	13
佐藤 高 清	①次年度予算と見直しの明確化を ②今後の地域活動スタイルは	7	高橋 八重典	①タクシー補助事業の緩和と拡充を ②市内縦貫道の早期整備を!	14
横井 克典	①コンビニ交付サービスの導入を ②JR・名鉄弥富駅自由通路事業は	8	加藤 克之	①インフルエンザの予防接種助成を ②子ども及び妊婦へ予防接種助成を	15
平野 広行	①名古屋競馬場の弥富市移転は ②愛知県競馬組合への加入は	9	加藤 明由	①公共施設の安全管理は最優先で ②違反転用への農業委員の責務は	16
佐藤 仁志	①持続可能な公共施設整備は ②行政組織のパワーアップを	10	江崎 貴大	①療育体制の整備を ②森津の藤公園の今後は	17
那須 英二	①駅開発より優先順位を考えて! ②介護保険制度の現状と今後は	11	堀岡 敏喜	①ケアラー支援の拡充を ②ヤングケアラーの把握と支援を	18
小久保 照枝	①乳がんの早期発見と推進を ②食品ロス削減の取り組みは	12			

三浦 義光 議員 政新会



問 気象変動による災害対策は

答 毎年、防災計画を改定している

問 直近5年間における、台風の影響による避難所開設、避難勧告の状況は。

答 〔防災課長〕 避難所開設は、合計8回。

避難勧告は、平成30年に高潮警戒で1回。

問 近年の弥富駅、佐古木駅周辺の水害状況は。

答 JR弥富駅北側の市道、近鉄弥富駅南側の県道、佐古木地区の市道で一時的に冠水があった。

問 小島地区排水機の運転のタイミングは。

答 〔下水道課長〕 覚書で運転開始水位と運転停止水位が決められ稼働している。

問 駅周辺の排水対策の計画は。

答 〔建設部長〕 JR弥富駅北側では排水量は増えないため、特別に排水計画は考えていない。

JR、近鉄両駅の間の地区では、適切な排水施設を配置。

問 増加する猛暑日、コロナ禍における小中学校生活の総括は。

答 〔教育部長〕 日傘や帽子、体操服による通学などの対応。

問 この冬の対策は。

答 今まで以上に湿度管理と換気に注意し、免疫力を高めるため規則正しい生活を促す。

問 市内稲作への影響に対するJAや県からの情報は。

答 〔農政課長〕 耐暑性を有する新品種を開発して、66aで一般栽培している。更に新品種を開発し2025年に一般栽培を目指す。

問 木曽川左岸尾張大橋付近の陸橋整備は。

答 〔建設部長〕 大型土のうで対応。

問 市長総括を。

答 〔市長〕 本市の特性を考慮し、毎年度、防災会議で審議し改定。

※洪水時に閉め、堤防の役割を果たすゲート

問

新規広域農道の
の後は

答

交通量増により
安全対策が必要



▲西中地地内広域農道

問 西中地地内、新規広域農道計画の変遷は。

答 〔建設部長〕 踏切や跨線橋による線路の横断は、JRとの協議の結果断念した。

弥富北中学校東側の市道の安全対策に見通しが立ち、現行事業で進めた。

問 国道155号につなぐ弥生通線の拡幅整備は。

答 〔土木課長〕 平成28年度に道路測量設計、用地調査が完了。その後、用地取得に至っていない。

問 弥富名古屋線へ結ぶ、弥富北中学校横の道路、拡幅および歩道整備の計画は。

答 〔市長〕 歩道整備の計画はある。JRと事前相談を行っており、今後は事業着手に向け協議を継続。



佐藤 高清 議員
政新会

問 次年度予算と見直しの明確化を

答 財源を有効活用し予算を編成

- 問** 令和3年度の予算執行方針は。
- 答** (総務部長) 積極的な事務事業の見直しが必要。
- 問** 事務事業の見直しの明確化を。
- 答** 市民の所見を踏まえた要求額等の予算と、企画政策課のヒアリング結果をとりまとめ、予算査定に活用。
- 問** 減収の見込みは。
- 答** (市長) 企業収益と個人所得の減少により、市税収入約10%減額と想定。
- 問** 新規事業の計画は。
- 答** 今後の予算査定の中で精査。
- 問** 既存事業と新規事業のバランスの見込みは。
- 答** 新規事業の必要なものは予算措置を考える。
- 問** 予算における市長の認識は。
- 答** 担当各課のヒアリングを実施した。今後は限られた財源を有効に活用し、予算編成に臨む。

問 今後の地域活動スタイルは

答 地域活動スタイルを情報発信

問 各自治会・各種団体の「新しい地域活動スタイル」は。

答 (総務部長) 次年度のイベント事業の方向性の案を定めた。

今後も市と市民が一体に新型コロナウイルス感染防止に努める。

問 多岐にわたる団体活動の指導は。

答 公共施設の貸館や行事の開催等の方針は協議し、内容を速やかに情報発信。

問 今後の集会や活動事業案は。

答 (市民生活部長) 「新しい生活様式」を取り入れた地域活動のリーフレットを作成。

市民プラザや市民協働課

窓口、市ホームページ掲載により情報発信。

問 「新しい生活様式」での活動のあり方は。

答 (市長) 感染防止対策の徹底と併せ、行事等の開催方法の工夫が大切。相談や情報を共有して対応。



▶市HPの掲載はこちら

コロナに負けずにがんばろう！

「新しい生活様式」を取り入れた地域活動

～大切な「地域のつながり」を守り続けるために～

新型コロナウイルスが収束しない中で・・・

■手探りで進める地域活動
市内の多くの地域団体が活動の中止・延期を余儀なくされ、感染予防策を徹底すればするほど、活動の継続が難しいといったジレンマを感じるなど、迷いや不安を抱えながら手探りで活動を進めておられます。

■その中から活動のヒント～「新しい地域活動スタイル」をご提案！
皆さんが少しでも安心して地域活動を続けていただくためのヒントになればと、「新しい生活様式」を取り入れた感染予防策や新たな活動方法・事例を掲載した「新しい地域活動スタイル」をご提案します。

■これまでの方法は変えても、工夫して活動を続けましょう
一度活動を中止してしまうと、なかなか再開できないこともあります。活動によって築かれてきた「住民同士のつながり」など、地域の大切なことを守っていきよう、無理のない範囲で、活動を続けましょう。

■この機会に、これまでの活動を振り返ってみましょう
改めてこれまでの活動が果たしてきた役割・意義を深く考え、代替手段や新しい方法、新しい参加者や協力者をつなげる方法について考える機会にしてはいかがでしょうか。

■完全な方法はありません。皆さんと一緒に考え、進めていきましょう
地域や社会状況によって事情は変わり、すべてにいつでも使える完全な方法はありません。各地域で皆さんが、それぞれにふさわしい活動の方法を一緒に考え、進めていきましょう。

佐賀市 令和3年10月

▲地域活動のリーフレット

横井 克典 議員 無会派



問 コンビニ交付サービスの導入を

答 マイナンバーカードの普及を優先

マイナンバーカードの交付について以下を問う。

問 本市、国、県の交付率は。

答 (市民生活部長)

本市約16%、国約22%、愛知県約20%。

問 第4次行政改革実施計画から、マイナンバーカードの多目的利用を削除した理由は。

答 市独自の多目的利用が考えられていなかったため。



▲マルチコピー機

問 公的証明書のコンビニ交付を実施している全国の自治体の割合は。

答 約44%。

問 県内38市の状況は。

答 26市で約68%。

問 導入のメリットとデメリットは。

答 メリットは、午前6時30分から午後11時まで交付できること。

デメリットは、交付サービスにかかる費用が高いこと。

問 初期投資経費は。

答 1755万円。

問 毎年のランニングコストは。

答 運営負担金で約222万円、委託手数料が1通当たり117円。

問 国の財政支援は。

答 令和4年度までに導入すれば、3年間、初期投資経費と運営費の経費の半分が特別交付税措置となる。

問 導入の考えは。

答 (市長) まずは、マイナンバーカードの普及に努めていく。

問 JR・名鉄弥富駅自由通路事業は

答 一大事業であり進めていきたい

JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業について以下を問う。

問 JR・名鉄弥富駅の東西踏切の1日の歩行者数は。

答 (建設部長) 東側1163人、西側1208人。

問 自由通路完成後の1日の通行者数は。

答 鉄道利用者を含んで約6千人の見込み。

問 総事業費は。

答 約46億円。

問 財源内訳は。

答 国の交付金約17億円、事業債約24億円、鉄道事業者約1億円、市の一般財源約4億円の見込み。

問 近鉄、JR間の再開発についての考えは。

答 (市長) 駅周辺まちづくりを推進し、安全で利便性の高い基盤整備を行い、面的なにぎわいが生まれ、市民や来訪者が集うことで、周辺への波及効果を期待する。

問

財源不足を理由に市民



▲現在のJR・名鉄弥富駅



平野 広行 議員 政新会

問 名古屋競馬場の弥富市移転は 答 地元説明会を開催し同意を得る



▲新競馬場予定地付近

問 令和4年、名古屋競馬場の弥富市への移転について以下を問う。

答 本市への移転決定の経緯は。

問 (市民生活部長) 平成28年、知事から移転候補地と打診。組合議会において同年3月調査費の予算案が可決し、29年3月に決定。

問 移転につき、市・地元への同意は。

答 本年度中に同意を得る。

問 地元との要望等の協議内容は。

答 交通アクセスの向上、駐車場外の迷惑駐車、治安関係で交番の新設についてなど。

問 今後の協議の進め方は。

答 競馬組合が、地元の同意書を得て、本市と協議を行う。

問 移転整備事業はPFI事業で行われるが事業者及び事業方式は。

答 事業者は、金シヤチ名古屋競馬場PFI(株)。

事業方式は、事業者が組合に施設の所有権を移し、維持管理・付帯事業を行う方式。

問 名古屋競馬場を本市の観光拠点とする考えは。

答 具体的なものは決まっていない。

※民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法。

本市で競馬が開催されることになるが、地元自治体として競馬組合への加入について以下を問う。

問 競馬場が所在する自治体における競馬組合加入状況は。

答 (市民生活部長) 一部事務組合で運営している競馬場はすべて加入している。

問 競馬組合加入のメリットとデメリットは。

答 メリットは、利益金が配分される。市長が経営に関与できる。地元意見を反映できる。

デメリットは、構成団体加入が必要。赤字で解散した場合、一部を負担する必要がある。

問 愛知県競馬組合への加入は

答 慎重に判断していく

問 競馬場になることによる市税収入の見込みは。

答 一部事務組合のため非課税。

問 組合加入の手続きは。

答 組合構成団体及び本市で規約制定議案の上程・可決が必要。その後、総務省から規約変更の許可があった後、加入可能。

問 出資金について起債は可能か。

答 (総務部長) 可能。

問 愛知県競馬組合への加入及び競馬場への関わりについて市長の考えは。

答 (市長) リスクもあり慎重に判断すべき事業。まずは、令和4年4月オープンにむけて、魅力ある競馬場づくりに関わっていきたい。

佐藤 仁志 議員 無会派



問 持続可能な公共施設整備は

答 優先順位を協議し実施

問 下水道事業債の元利償還金に対して何%が地方交付税措置されるのか。

答 財政課長 約30%。

問 一般会計から下水道会計に恒常的に補助があるのか。

答 5億円以上、繰り入れが必要。

問 高い接続率が見込まれる区域に絞って進めていく必要があるのでは。

答 下水道課長 調査しながら、未接続者を対象に戸別訪問し、接続をお願いする。

問 第2次弥富市総合計画における投資的事業を、すべて実施するには財源がとて足りないのでは。

答 企画政策課長 事業を精査し、優先順位を協議し実施する。

財政課長 財源確保に努

める。

問 JR・名鉄弥富駅と他の駅を比較し、過去の検討経緯を含め、今後の長期的な課題を再度整理しては。

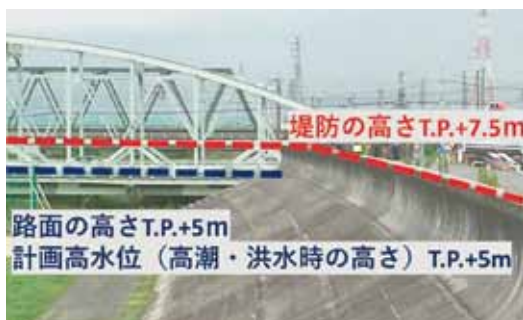
答 都市整備課長 「ひとが集い・交流する賑わいあふれる空間」の形成を目指す。

問 尾張大橋の架け替えに関連する公共施設管理者は。

答 土木課長 中部地方整備局、水資源機構、愛知県、蟹江警察署、立田輪中恵水土地改良区など。

問 弥富市が事務局となつて関係官庁や地元関係者による研究会を設置しては。

答 現在、考えはない。



▲国道1号 尾張大橋

問 行政組織の
パワーアップを

答 意識改革
意欲向上を図る

問 事務事業評価の成果は。

答 企画政策課長 「改善」「見直し」と評価された22事業に対し、各担当課にヒアリング。次年度、当初予算編成の判断材料にする。

問 事務事業評価が予算要求に生かされたか。

答 財政課長 評価結果を踏まえ、予算査定を実施。

問 来年度の健康フェスタの基本方針は。

答 健康推進課長 保健センターをメイン会場とし、

健康に特化した事業にする。

問 健康フェスタの開催日にあわせて、市役所のオープンデーを設けては。

答 市民生活部長 開催日には多くの市民の来庁が予想され、お披露目を兼ねた見学会を検討。

問 新しい歴史民俗資料館の企画展の予定は。

答 教育部長 具体的な内容は決まっていない。

問 市民交流スペースの活用は。

答 市民協働課長 市民団体と情報交換しながら、有効活用に努める。

問 自律型のスタッフを育てる効果と方策は。

答 人事秘書課長 より高い意欲を持った職員の育成に努め、組織力強化を図る。



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 駅開発より優先順位を考えて！

答 廃止・複合はサービスの向上に



▲さくら会館

公共施設再配置計画とJR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業について以下を問う。

問 36年間で332億円不足し、公共施設の統廃合を行うというが、現在の進捗は。

答 (財政課長) 保健センターの移転は完了。火葬場建て替えは進行中。

問 この中に、自由通路事業は含まれているか。

答 未整備なので含まれていない。

問 なぜ含めていないか。

答 公共建造物でなくインフラ施設の更新費用として計画する。

問 この事業の単年度の借金返済額は。

答 約1億6千万円。償還期間20年。

問 自由通路の維持管理費は。

答 (都市整備課長) 鉄道事業者と維持管理協定を締結後、算出。

問 さくら会館や十四山公民館は廃止するのに、橋上化は進めるのか。

答 (建設部長) 進めていく。

問 再配置計画の作成時と、今の財政状況は大きく変わっているが、市の認識は。

答 (総務部長) 適切に見直していく。

問 これを踏まえて、公共施設再配置計画の整合性は。

答 概ね5年ごとに計画を見直す。

問 計画自体を大幅に見直すべきでは。

答 適切に判断していく。

問 一方では市の財源が不足する、他方では大型公共事業に対して財源はあると言ったが、市民の望む優先順位と費用対効果を考えるべきでは。

答 廃止、複合化はサービスの向上につながる。大型公共投資は財源の見通しが立てば進める。

問 一方では市の財源が不足する、他方では大型公共事業に対して財源はあると言ったが、市民の望む優先順位と費用対効果を考えるべきでは。

介護保険事業について以下を問う。

問 第7期計画を振り返り、市の見解は。

答 (健康福祉部長) 3つの基本目標を掲げ事業に取り組んできた。

どの目標も事業の認知度の低さが課題となった。

問 第8期計画の見通しは。

答 策定委員会で保険料増額の見込みを提示。

問 値上げしないよう最大限に努力しては。

答 介護給付費準備基金を取り崩し、軽減を図る。

問 介護予防事業を行い、保険料を下げる考えは。

答 新規事業を立ち上げ、要介護認定率の低下につなげていく。

問 根本的に、介護保険事業の制度についてどのような認識か。

答 (市長) 保険料の上昇を抑える手立てが不可欠。介護人材の確保も重要。

問 介護保険制度の現状と今後は

答 保険料上昇抑制が不可欠



▲十四山公民館

小久保 照枝 議員 公明党



問 乳がんの早期発見と推進を

答 41歳女性に無料クーポン送付

問 がん検診推進事業の取り組みは。

答 (健康推進課長) 胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの6つの「がん検診」を実施。

問 乳がん検診の取り組みと内容は。

答 30歳以上の女性を対象。41歳の女性に無料クーポン券を送付。

問 セルフチェックシートの配布や健康教育はできないのか。

答 検討したい。
問 ウィッグ(かつら)の助成はできないのか。

答 実施に向け調査したい。

問 学校での「がん教育」の取り組みは。

答 (教育部長) 保健学習や学級活動、道徳を中心に指導している。

弥富中学校では、骨髄を提供したドナーの方を招いて講演を行った。

今後も各校工夫を重ね、「生命尊重」「思いやり」などの観点から「がん教育」を行っていく。



▲がん検診受診券・クーポン

問 食品ロス削減の取り組みは

答 ごみカレンダー等で啓発

問 コロナ禍においてのごみ収集の状況は。

答 (市民生活部長) 直近5年で一番多く、前年比約4・1%増加。

問 家庭または外食産業への意識啓発と食品ロス削減への取り組みは。

答 次年度より「ごみカレンダー」にも食品ロス軽減のヒント等を掲載。飲食店に啓発チラシを掲示してもらうよう配布。

問 賞味期限間近の備蓄用非常食品の管理は。

答 (総務部長) 1年未満になった食品をイベントや防災訓練等で配布。

問 フードバンクから生活困窮者等への支援はあるのか。

答 (福祉課長) 市社会福祉協議会や、フードバンクの事業に取り組む「セカンドハーベスト名古屋」から食品パックを届けている。

問 備蓄品をフードバンク等へ寄付できないか。

答 (総務部長) すでに有効活用しているので、考えていない。
問 学校給食での食品ロスは。

答 (教育部長) 残食率は平均0・57%で、県平均5・2%に比べればはるかに低い。

栄養教諭による授業を実施したり、食材の解説や生産者の声などを献立表に掲載したりして「感謝する心」を育むような心の教育に取り組んでいる。



▲食品ロス啓発リーフレット
(作成:愛知県)



▶愛知県
食品ロス
削減サイト



板倉 克典 議員 日本共産党弥富市議団

問 コロナ禍の災害避難は 答 積極的に取り組む

問 避難場所の数、収容人数の合計と計算方法は。

答 〔防災課長〕 55カ所に5万5194人。1㎡当たり1人で計算。

問 避難場所の感染症対策を考慮しない理由は。

答 一時的に命を守ることを最優先とするため。

問 避難場所の簡易トイレ、仮設トイレの設置の有無と予定は。

答 避難所を兼ねる避難場所には簡易トイレなど配備。民間の避難場所に予定はない。

問 避難所で使用するパーティションの配備数は。

答 避難所6カ所に合計400個。

問 パーティションを一度に配備できない理由は。

答 耐用年数を考慮すると、次の更新時に一度に変えなければならなくなるため。

問 避難所、避難場所に避難ポールの配備は。

答 市の施設、防災倉庫、小中学校に配備。各消防団に順次、配備。

問 避難所は感染症対策を考慮しているか。

答 県のガイドラインに基づき行う。

問 税金の使い方については、命を守る予算を優先に望むが市長総括を。

答 〔市長〕 減災事業に積極的に取り組んでいく。

問 市内道路の安全対策は
答 事業費の確保に努める

問 県道子宝愛西線又八地区の歩道設置の進捗は。

答 〔土木課長〕 昨年度、地権者と現地確認立会を行い、今年度、用地測量に着手する予定。



▲ポプラ台団地付近

問 市道、西中地地区ポプラ台団地付近の歩道設置の進捗は。

答 用地の取得に至っていない。民有水路と道路の整理ができ次第、交渉。

問 鉄道事業者から、自由通路の整備を、踏切拡幅等と同時に協議をしない条件が、なぜ付いたか。

答 〔建設部長〕 事業者の中で担当部局が異なるため、個別に協議を行う必要がある。

問 市民の利益になっているか。

答 安全性と利便性が向上することから、市民の利益に資する。



▲JR・名鉄弥富駅西側踏切

問 街路事業費などの予算が減っているが足りていると認識か。

答 〔土木課長〕 国の交付金事業や県補助を活用し、事業費の確保に努める。

問 JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業の覚書作成を延期し、税金の使い道を適切に見直す時期だと考えるが市長総括を。

答 〔市長〕 覚書締結後は、国や県に補助を要望し、鉄道事業者にもっと負担してもらおうと依頼していく。

高橋 八重典 議員 政新会



問 タクシー補助事業の緩和と拡充を

答 1乗車複数枚の利用を可能に

問 コミュニティバスの見直しはいつか。

答 (市民協働課長) 来年度に社会実験運行、令和4年度には実施。

問 高齢者福祉タクシー料金助成事業の条件は。

答 (介護高齢課長) 要介護・要支援認定を受けた方、または介護予防・日常生活支援総合事業の対象者。

問 弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスを受ける条件は。

答 要介護認定を受けた方など。

問 市内、65歳以上の高齢者数は。

答 1万1504人。
問 75歳以上後期高齢者数は。

答 6018人。
問 75歳以上の人口増加予測は。

答 2025年には、7013人。

問 移動支援の4事業の条件を緩和、拡充しては。

答 (市長) 制度の中で困っている人に支援できる利用条件を設定。

問 タクシー補助での利用者負担の平準化は。

答 (健康福祉部長) 1回の乗車で複数枚まで使用を可能にして利便性を図る。

問 公共交通の長年の課題と提案した事の総括を。

答 (市長) バス部分とそれを補完するタクシー等の移動手段の枠組みでの運用を検討。

問 穂波通線の未整備区間は。

答 (土木課長) 1・3kmの内200m。

問 今後の整備計画は。

答 早期供用開始に向け、地権者と交渉を行い、道路整備を進めていく。

問 国道1号の接続はどうするの。

答 (建設部長) 丁字による交差点となり、三百島交差点の信号機を移設する。

問 中央幹線1号から4号までの未整備区間は。

答 (土木課長) 間崎二丁目交差点北0・4kmから三好五丁目交差点付近までの約1・5km区間。

問 穂波通線から中央幹線4号の総延長は。

答 約8・3km。

問 未整備区間は総延長の何割で距離は。

答 約2割で1・7km。

問 幹線道路の重要性から、未整備区間の早期完結への考えは。

答 (市長) 南北軸は東西軸に比べ脆弱であり、東西軸の広域幹線道路に接続する地域幹線道路として重要な路線と認識。早期の整備を推進する。



▲買い物支援サービスの車両

問 市内縦貫道の早期整備を！

答 南北を結ぶ重要路線として整備



▲寛延地内鋳物工場付近(未整備区間)



加藤 克之 議員 政新会

問 インフルエンザの予防接種助成を 答 助成をしている自治体は多い



インフルエンザ予防接種について以下を問う。

問 県内自治体でのインフルエンザ予防接種の取り組み状況は。

答 (健康福祉部長) 高齢者以外の助成をしているのは、22市町村。

小学生は2回接種、中学生は1回接種で、1回につき千円を助成している市町村が多くみられる。

問 近隣自治体の助成内容は。

答 あま市と蟹江町では、1歳から小学6年生までは2回接種、中学生は1回接種。1回につき千円を助成。

大治町では、生後6カ月から中学3年生までと、妊娠届出書を提出している妊婦の方に、1回接種で1500円の助成。

問 子ども及び妊婦への予防接種助成を

答 来年度から実施予定

問 あま市や蟹江町と同様の助成をした場合に、想定される予算は。

答 800万円ほど。

問 先進地では、妊婦の方へも助成しているが、本市で助成をした場合に想定される予算は。

答 妊娠届出書を提出している方に、1回接種で千円を助成すると25万円ほど。

問 本市の予防接種助成の予定に関する市長の見解は。

答 (市長) 子育て世代の経済的負担を軽減するため、来年度より、1歳から中学3年生までと、妊娠届出書を提出している妊婦の方に、1回接種につき千円の助成を検討したい。

加藤 明由 議員 無会派



問 公共施設の安全管理は最優先で

答 利便性より安全性を優先

問 十四山スポーツセンター始め、5カ所の施設の天井板の安全性は。

答〔教育部長〕 十四山スポーツセンター第二アリーナの天井板は、落下対策として、ネットが張つてあるため、他施設と比べ比較的安全。

問 小中学校の天井板の撤去費用は。

答 十四山東部小学校を除く7小学校で、約3億1440万円。

十四山中学校を除く2中学校で、約2億6790万円。

問 小中学校以外5カ所の天井板を撤去する費用は。

答 約4億円。

問 国からの補助金などはあるか。

答 今後、研究していく。

問 今後の撤去工事の見通しは。

答 公共施設再配置計画などに基つき、財政部局などと調整していく。

問 2年位で撤去工事を行うことはできないか。

答 計画的に行っていく。

問 利便性と安全性のどちらを優先させるのか。

答〔市長〕 利便性より安全性。危険個所の把握に努めて対応していく。

問 違反転用への農業委員の責務は

答 農地転用完了前は指導対象

平成29年6月議会で同意された農業委員11名のうち、3名の市議会議員が含まれていた。

問 令和2年6月議会、農業委員の同意議案から外れた理由は。

答〔農政課長〕 全国市議会議長会で、「議員の審議会等への参画を見直し、法令の定めによるものと定めるべき」と記されているため。

問 農業委員が転用目的に反した行動を察知した場合は、どのような対応が求められるか。

答 農地転用完了前の行為は、計画変更等の指導対象になる。

農地転用が完了したら、農業委員会の範疇ではない。

問 今後、再び転用申請が出された場合、過去の転用違反物件の取扱いは。

答〔建設部長〕 違反転用案件があれば指導し、是正されれば、建築の許可が進められる。

問 農業委員の中に、農地の転用違反者がいるとの通報があつたが、実態は調査しているか。

答〔市長〕 違反転用状態にある土地を所有する委員がいることは承知している。

農業委員会からは土地利用者に、是正の指導を行っている。



▲崩落した特定天井
避難所(体育館)2016年熊本地震



▲十四山スポーツセンターの天井



江崎 貴大 議員 無会派

問 療育体制の整備を

答 正規保育士の確保を

母子通園施設のびのび園について以下を問う。

問 療育に対する市長の考えは。

答 市長 母子通園施設として、のびのび園を開設・運営。設置意義は十分ある。

問 今年の正規保育士の人数は。

答 児童課長 2人。

問 過去数年の正規保育士の推移は。

答 平成28年度2人、29年度3人、30年度4人、令和元年度4人。

問 今年の非正規職員の勤務時間は。

答 午後3時頃まで。

問 昨年度までの非正規職員の勤務時間は。

答 午後4時頃まで。

問 以前より意見交換をする時間が少なくなっていると思う。どのような考えでの対応か。

答 勤務時間が短いため。今後は勤務時間を延長し、柔軟に対応。

問 来年度以降の職員体制を再度整備しては。

答 3人以上の正規保育士を確保。

問 支援の質の向上への取り組みは。

答 希望する保護者への心理士相談を12月から開始。

問 コロナ対策は。

答 療育室に網戸を整備。加湿器や空気清浄機を適時活用。

問 老朽化している設備の修繕は。

答 必要な所から順次修繕。

問 療育施設の今後の考え方は。

答 子育てに苦悩する保護者への支援のため公的施設は必要。



▲のびのび園

問 森津の藤公園の維持管理体制は。

問 森津の藤公園の今後は

答 整備計画の実施時期は今後検討

答 教育部長 樹木管理と環境整備。団体が利用する前に清掃。

問 整備計画は。

答 庭園、竹林、長屋門や駐車場の整備を検討。

問 舞台を設置するという計画は。

答 舞台の常設は難しい。今後の活用方法は。

問 他自治体の活用例を参考にする。

答 たけのこ掘りを計画している。

問 竹林整備後の活用を検討。

答 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン制度をご存知か。



▲森津の藤公園 藍亭

答 大会参加国との相互交流を図り、地域活性化の推進を目的とした制度と認識。

問 案内文は通知されているか。

答 県を通じて通知された。

問 どのように処理されているか。

答 受入体制のハードルが高いので、登録申請はしていない。

問 オランダとのホストタウン登録を申請してはどうか。

答 予定はないが、2026年「愛知・名古屋アジア競技大会」を見据え、草の根的な交流の研究をしている。

堀岡 敏喜 議員 公明党



問 ケアラー支援の拡充を

答 広く共有連携し支援体制を整備

家族などの介護や看護に

追われ、ケアラー（介護者）

自身が体調を崩したり、社

会から孤立したりすることが

大きな課題となっている。

問 支援する制度や仕組み

が必要と考えるが市の認識

は。

答（健康福祉部長） 今後、

地域や関係機関の連携による

包括的な支援が行えるよう、

体制を充実し、整備していく

必要がある。

問 策定中の第8期介護保

険事業計画にケアラー支援

を施策項目として掲げ、推

進すべきでは。

答 ケア会議で情報共有し

ながら検討。支援事業は第

8期計画の策定委員会で提

案し、意見を聞く。

問 ケアラー支援条例の制

定に向けて検討を。

答 条例制定は必要だと感

じる。専門職の意見を聞き

研究する。



▲家族介護者支援マニュアル



▲ケアラー手帳



なかった。

要支援家庭の約80件の中

には、疑わしきケースが1

件あった。関係機関・関係

部署と情報共有し、適時必

要な支援をしている。

問 ケアラーが抱える諸問

題、諸課題は複雑多岐にわ

たり、その解決に行政は縦

割りを排し、また民間、地

域での連携が不可欠である。

ケアラー支援の認識と対応

は。

答（市長）子どもの権利

を守るという視点で、多層

的に支援することが重要。

要保護児童対策地域協議

会や、地域ケア会議で多職

種の連携を図っていく。

問 「家族介護者支援マニ

ュアル」を冊子として関係す

る部署の職員に配布しては。

答 関係部署で研修を行

い、情報共有できる仕組み

や機会を作り、基礎固めの

後に配布したい。

問 弥富市版ケアラー手帳

を作成し、配布しては。

答 しつかりと勉強や研修

を積んだ後、ケアラーの把

握に努め、ケアラー手帳の

普及を行っていききたい。

問 「家族介護者支援マニ

ュアル」を冊子として関係す

る部署の職員に配布しては。

答 関係部署で研修を行

い、情報共有できる仕組み

や機会を作り、基礎固めの

後に配布したい。

問 市の現状の認識は。

答（健康福祉部長）令和2

年6月に在宅介護実態調査

を500人対象で行い、30

歳未満の介護者の該当者は

なかった。

近鉄弥富駅南
ポケットパーク
令和2年
11月29日(日)
午後5時より



巨大弥富金魚イルミネーション点灯式

今年度は、十四山中学校、十四山東部小学校、十四山西部小学校の生徒・児童の皆さん386名が参加して、3回目となる金魚イルミネーションの制作に携わってもらいました。

弥富ライオンズクラブと共同企画により「青色デメキン」を医療従事者へ感謝の意を込めて、新たに作成しました。

また、桜小学校生徒会においては医療従事者への感謝と応援メッセージを掲示しています。



議会広報編集特別委員会で、防災備蓄倉庫の視察に行きました。

防災課の職員の方に備蓄保管状況を説明していただきました。

倉庫の中には、非常食品、毛布、仮設トイレ。コロナ対策として、パーティション、マスク、消毒液等。新たにダンボールベッドと障がい者用のベスト(写真)が備蓄してありました。

液体ミルク等は、保健センターに備蓄とのこと。

現在、弥富市には一次避難所と二次避難所合わせて38カ所ありますが、収容には限りがあります。

市民の皆様にはそれぞれ必要な物を、備蓄していただくようお願い申し上げます。



弥富市
総合社会教育センター
防災備蓄倉庫
令和2年
12月23日(水)



弥富市議会SNS等のご案内

弥富市議会では、皆様に議会の模様をお伝えするために、Facebook、Twitter、YouTube、ホームページで情報を発信しています。是非ご活用いただき、スマホ等でご覧ください。

弥富市議会ホームページ

Q 弥富市議会



公式 Facebook ページ

Q @yatomishigikai



公式 Twitter アカウント

Q @gikai6



公式 YouTube チャンネル

Q 弥富市議会



3月定例会の開催日程(予定)

期 日	日 程	ケーブル テレビ中継 放映予定	インター ネット 配信予定
2月24日(水)	本会議(議案説明など)	○	○
3月 5日(金)	本会議(一般質問)	○	○
8日(月)	本会議(一般質問)	○	○
10日(水)	本会議(議案質疑)	—	○
15日(月)	行財政委員会	—	○
16日(火)	行財政委員会	—	○
23日(火)	本会議(委員長報告・討論・採決)	—	○

◆ケーブルテレビ中継

午前10時～会議終了まで(録画放映は当日午後7時～放映予定)

◆インターネット配信

開催後、おおよそ3日後より配信予定

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

表紙の説明



市は、金魚漁業組合や県と協力して市内外の公共施設で、金魚と水槽を無料で配る「金魚拡散大作戦」のイベントを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で消費が落ち込んだ金魚の需要を喚起し、販売を促進するものでした。

10月31日から12月13日までの間、計6回。海南こどもの国や、愛・地球博記念公園、名古屋港水族館で行い、計1,580セットの配布を行いました。

また、金魚セットをもらった方には里親になっていただき、SNSで飼育の様子を広く拡散していただいております。